



尼崎市立立花中学校

学校だより

令和3年10月号

強く生き、正しく考え、優しく関わる立中生

言葉の美しさ、大切さについて

校長 岡本 修一

緊急事態宣言が全面解除されましたが、まだまだ世界中で多くの方が亡くなり、国内でも入院、治療されている方がたくさんおられます。ここに謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

緊急事態宣言延長の中、2学期が始まり、そして1か月が過ぎました。生徒たちは学校での生活リズムも徐々にもとどり、日々の学習活動に取り組んでいます。保護者の皆様も、お子様の家庭生活のリズムが整いますようご協力お願いいたします。みなさん、「早寝・早起き・朝ごはん」は続いていますでしょうか。



朝晩は少し肌寒いくらいになりました。秋といえは、読書の秋、スポーツの秋、そして実りの秋、収穫の秋といって、植物が実を結ぶ時季です。すでに梨やりんご、ぶどうに加え、柿やみかんがすでに店頭で並んでいます。りんごは、早生種の「サンつがる」が並んでいます。長野産については春の霜害による影響の不安要素があるということです。ぶどうは、8月の長雨、高温の影響をうけているようです。鳥取産の梨も、台風による被害があったそうです。このような厳しい自然の中でも農家の方々のご苦労とご努力で私たちにおいしい実りを運んでいただいています。

コロナ禍の厳しい環境下での、生徒たちの努力の成果が見られるような、実り豊かな2学期になることを期待しています。旬の梨に葡萄に柿もこれから美味しくいただくことができることがとても楽しみです。



このような秋、校内では体育行事、合唱コンクールのシーズンがやって来ました。今年もこの10月は、新型コロナウイルス感染防止対策を万全にしながらの合唱練習、リハーサル、そしてコンクール本番です。運動・歌が得意な人、苦手な人、体育・音楽が好きな人、嫌いな人も、みんなにとって何かを得ることができる、クラスみんなの心をひとつにする行事です。走り切った、歌い切った、やりきったと言えるような取組と努力に期待するとともに、楽しみにしています。とても大切な時間となることでしょう。



9月下旬から運動部では、新チームがスタートし、市内新人大会が始まりました。しかし、地域の秋祭りなどは緊急事態宣言の延長もあり、中止になってしまいました。地域の文化行事と体育行事もたくさん中止にされています。学校では規模を縮小し、かたちを変えながら実施を検討し準備を進めています。

7日からは、2学期中間考査が始まります。生徒の皆さんは1人ひとりが自分の目標を達成できるようやり抜きましょう。地域、保護者の皆様の励ましの言葉かけをよろしく願います。

生徒たちに朝礼で次のような話をしました。「2学期が始まり、1か月がたちました。・・・早く規則正しい生活を取り戻し、授業やさまざまな活動に集中できるように生活リズムを整えていきましょう。・・・皆さんが学校生活を通して、学びを深め、自分自身を大きく伸ばして欲しいと願っています。そのためには、まずひとり一人が「何をめざして学ぶのか」と

いう目標をしっかりとって学校生活を送ることが大切でしょう。その思いを皆さんが共にして、互いに高め合い、学び合う仲間、集団になっていきましょう。このコロナによる緊急事態宣言を受け、安心して学び合える仲間づくり、クラスの雰囲気づくりが豊かで深い学びにつながることでしょ。自分らしさを発揮できるクラス、自分の居場所がある魅力的なクラス、そのようなクラスを仲間とともに作っていきましょう。そうすると、みなさんの学習はよりよい学びに発展していくことでしょ。ひとり一人が学習の目標をしっかりとって、互いに応援し合う温かな雰囲気づくりを進めていきましょう。そうした雰囲気づくりが、いろいろな状況の仲間の応援になります。皆さんの力で生き生きと学べることを願っています。

この暖かい雰囲気づくりに大切なのは言葉の力だと思います。私は、オリンピックをテレビで観戦していて、その言葉についてとても感じた一場面がありましたので紹介します。



東京オリンピック陸上女子1500メートルで、8位入賞の快挙を遂げた田中希実さん・・・同志社大学の学生でもあり、独特の言葉のセンスが話題を集めています。・・・準決勝レース後に「中学の時以来、人生2度目の気持ちに出会った」と表現しました。・・・中学3年時の全国大会では、後方から追い上げ、優勝しました。中学の時のこのレースを人生のベストレースに挙げ「あの時は最初から最後まで気迫をまとい、やる気の塊のようだった」と振り返りました。・・・久々にそのような気持ちになり「今後いつ、巡り合えるか。気持ちや状況は一期一会なので」とも・・・今大会で自身の初戦だった5000メートルで予選敗退。周囲から「あと1本、頑張ってるね」と声を掛けられたが「1本じゃなくて2本、3本にしたいと、そこでスイッチが入った」という。「私は5000メートルの方をすごく考えていたら、1500メートルでこんなご褒美がもらえた」と笑って語っていました。・・・身長153センチの小さな彼女が編み出す言葉は、いつも光っている。」言葉の美しさ、大切さについて改めて感じる一場面でした。生徒のみなさんは、学校でたくさんの美しい言葉を学び、使っていきましょう。

コロナ禍では外出を控え自宅で過ごす時間が多くなっています。秋の夜長、ご家族で読書を楽しむことでも美しい、大切な言葉を学ぶことができることでしょう。

【避難訓練を行いました】

9月17日に、少し暑い中ではありましたが、尼崎市北消防局の皆さんのご指導を受けながら、避難訓練、消火訓練の火災避難訓練を実施しました。各地で火災や放火事件がおこり、多くの犠牲者がでています。「おさない、はしらない、しゃべらない、もどらない」(おはしも)を忘れず、生徒たちも、職員も真剣に取り組みました。私からは、火災発生時には炎と煙から身を守りながら避難して欲しい旨の話をしました。火災は、いつ、どこで、どのように発生するかわかりません。ご家庭でも火災に遭遇した時の消化と避難方法について話ってください。これからも学校では地域、関係機関と共に、災害発生時に子どもたちの命を守ることができる安全教育をしていきます。



《お知らせ》

職員紹介

9月より着任いたしました教職員を紹介いたします。

中村 友紀先生 (英語科)

乗本 裕子さん (スクールサポートスタッフ)

上原 正二さん (学校校務員)

お世話になります。

【お願い】

「ミマモルメ」の登録がお済みでない保護者の方は、登録をお願いいたします。ご家庭においても新型コロナウイルス感染症予防に、引き続きご配慮ください。臨時休校の対応等についての連絡については、ミマモルメにてお知らせいたします。どうぞよろしく願います。